

学 校 名	宮崎県立小林工業高等学校		
活動・行事名	社会福祉体験事業	対 象	2年生 参加者 165名
活 動・行 事 の ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 異世代の交流を通して、社会に貢献すること、自己の在り方・生き方を考える。 ○ 福祉活動に対する理解や思いやりの気持ちを育成する。 ○ 望ましい勤労観・職業観の育成を図る。 		
活動までの準備や事前指導	<ul style="list-style-type: none"> ○ 活動内容を検討し、施設へ訪問依頼、計画作成 ○ 施設との具体的な打ち合わせ ○ 事前講話・事前指導（生徒・担当職員の打ち合わせ） ○ 交流内容についての計画作成、準備、練習 		
活 動 の 内 容			
<p>12月13日（火）、老人福祉施設9、保育施設13、計22施設で実施。</p> <p>1. 集合・更衣・準備</p> <p>2. オリエンテーション</p> <p style="padding-left: 40px;">歓迎挨拶・生徒自己紹介</p> <p style="padding-left: 40px;">仕事の内容と特色</p> <p style="padding-left: 40px;">福祉体験にあたっての諸注意</p> <p>3. 施設内見学</p> <p>4. 体験活動Ⅰ（レクレーション体操、集団リハビリ援助、入浴誘導・入浴後の援助、食事介助など）</p> <p>5. 食事・休憩</p> <p>6. 体験活動Ⅱ（利用者との交流、散歩介助など）</p> <p>7. 反省会 * 事後指導で、体験レポート作成・お礼状の送付・発表会実施 *</p>			
成 果 と 課 題			
<p>3年目の実施ということで、施設側の受け入れ体制もよく助かった。事前講話や事前指導により、生徒の意識づけもうまくでき、取り組みも好評であった。また、居住地区の施設のため、小・中学校時にも交流していた生徒もおり、慣れた様子で活動しているのを見て、改めて地域社会との繋がりを深く感じた。今後も継続希望があったが、行事の精選により時間の確保が難しいという課題が残った。これまで以上に、個人でもボランティアに関する自主的活動を促すよう心がけていきたい。</p>			